

(別表) 実施訓練内容

地震及び津波に関する情報の収集・伝達訓練

関係機関から地震及び津波に関する情報の収集を行い、伝達の訓練を行う。

災害対策本部設置訓練

震度6弱の地震発生により、羽幌町地域防災計画に基づき「災害対策本部」を設置する。又、大津波警報の発表を受け、沿岸地域住民に対し、「避難指示」を発令する。

職員自主参集訓練

休日に伴い、職員の自主参集訓練を行う。

避難広報活動訓練

「避難指示」に基づき、町及び消防による避難広報を実施する。

避難誘導訓練

町職員・消防団員等の誘導により指定の避難場所に住民を誘導する。

負傷災害弱者救出訓練

地震により負傷した体の不自由な方の救出訓練を行う。

建物火災消火救出救助訓練

役場庁舎から漏電により出火、延焼拡大している。また、職員1名が逃げ遅れ救助を求めている。出動指令を受けた消防機関は消防隊並びに救助隊を編成し、救助を求めている職員の救出及び出火建物の消火活動にあたる。



地震・津波を想定した
羽幌町防災訓練、無事終了
平成17年10月2日(日) 羽幌小中学校グラウンド・南町運動広場・役場庁舎



羽幌で大津波発生!?

10月2日に羽幌町防災訓練が実施されました。

この訓練は、羽幌町地域防災計画に定められた「地震・津波・火災その他の災害から町民の生命及び財産を保護するため、地域住民と一体となって避難訓練並びに消火訓練を実施し、災害時における防災活動の円滑な推進と住民に対する防災意識の普及と高揚を図ること」を目的とするもので、消防、警察、消防団、住民のみなさんと一体となって実施する防災訓練としては、離島を除き町内では初めてのものです。

災害の想定としては「午後1時20分、北海道北西沖を震源とするマグニチュード7.8の地震が発生し、羽幌町で震度6弱を記録したほか北海道の広い範囲で強い揺れを観測。この地震により、札幌管区気象台は午後1時22分に北海道日本海沿岸北部に「大津波警報」を発表した。羽幌町への津波到達予想時刻は午後1時50分、予想される津波の高さは3mの見込み」という内容のため、福寿川沿岸の川南・川北あわせて13の町内会、543世帯を対象に、あらかじめ指定した避難場所へ避難誘導するという訓練が実施されました。

その他、負傷者の救出訓練や町職員の自主参集訓練など、計7つの訓練(別表参照)が実施され午後3時半には無事けが人もなく終了。町内会からは187名の参加をいただき、関係機関を合わせると合計382名の参加となりました。ご協力いただいた町内会のみならずともありがとうございました。

初の本格的な訓練ということもあり時間配分などに課題も残しましたが、次回以降もより多くの参加、よりよい訓練が実施できるよう努めていきたいと思っておりますので、住民のみなさんのご協力をお願いいたします。



ポンペを背負いながら、役場4階からロープで脱出。訓練の成果です。



役場3階から出火。救助隊員が救出に向かいます。



地震により負傷した体の不自由な方の救出訓練です。



その後、会場は南町運動広場へ移動。



消防団員等による消火訓練が行われました。



訓練とは言え、緊張で血圧が少し上がってしまったそうです。



緊急時の食糧を持参した方もいらっしゃいました。日頃の備えが大切です。



川北地区の様子。車イスの方の避難経路確保も、大きな課題です。



川南地区の避難所、羽幌小学校の様子。



災害対策本部で訓練の進行を見守る舟橋町長、松本助役、山本教育長。



各交差点では、役場職員、消防団員等が避難所への誘導を行います。



13時30分サイレンが吹鳴され、沿岸地域住民が避難を開始しました。



大規模な地震の発生により、職員が自主的に参集。これも訓練の一つです。



災害対策本部が設置され、沿岸地域住民に対し避難指示が発令されました。